

自らの生活を見つめ直す家庭科授業づくり ～振り返りに視点をおいて～

山口大学教育学部附属山口小学校 古庄 又

多くの子どもたちは、家庭科の授業を楽しみにしています。裁縫や調理といった実習に楽しさを感じているようです。しかし、家庭科は“実習の楽しさを感じる”だけの教科ではありません。最終的な目標は「自らの生活をよりよくしていこうとする実践的態度を養うこと」です。実践的態度を養うためには、子ども自身が「自らの生活を見つめ直す」ことが必要になってきます。本稿では、子どもが「自らの生活を見つめ直す」ことができるように取り組んだ「ゆで野菜サラダ作り」の実践を紹介いたします。

◆自らの生活を見つめ直すことができるように

自らの生活を見つめ直すきっかけにできるよう、私は常に以下の3つの視点を大切にしながら、授業づくりを行っています。

- ① 仲間とのかかわり合いの充実
- ② 実践的・体験的活動の工夫
- ③ 観点を明確にした振り返りとその交流



①は、子どもたちの生活経験や生活背景の共通点や相違点をもとに、子どもたちから問いを生み出したり、切実感を生み出したりするために大切にしていることです。②は、生活を見つめ直す際の客観的な根拠となり得るようにするために大切だと考えます。そして、③は、①②のようにして学んだことを振り返る際に大切にしていることです。これら①～③は相互に関連し合って、自らの生活を見つめ直すきっかけになると捉えています。

上記の取り組みの中で、今回は③に視点をおいて、紹介いたします。

◆子どもの学びの実際

指導計画は右のとおりです。題材の導入で「家族のためのゆで野菜サラダをつくろう」という大きな目標を子どもたちと決めました。単元途中には、たまごをゆでる調理やゆで時間を調べる実験を行い、それらの活動の後に「家族のためのサラダにふさわしいゆでたまごになっているか」を観点として振り返りを行いました。

【第2次第2時における振り返り】

第2次第2時では、子どもたちのこれまでの生活経

指導計画(全10時間)

第1次 調理計画をたてる

- ① 家族のためのゆで野菜サラダについて考える
- ② 調理の計画を立てる



第2次 ゆでる調理をする

- ①② たまごをゆでる
- ③ 時間を変えてたまごをゆでる
- ④⑤ 時間を変えて野菜をゆでる



第3次 調理をして学習を振り返る

- ①② ゆで野菜サラダを作る
- ③ 学習を振り返って意見を交流する

験をもとに、まずはゆで時間を 10 分と設定し、ゆでた後、見た目や食感についての気付きをワークシートに書き込む活動を行いました。その後の振り返りは以下のとおりです。

A 児 おばあちゃんが食べやすいように、もっとゆで時間を短くして、やわらかいゆでたまごを作りたい。

B 児 うちでは、もっとかたいゆでたまごが出るので、家族が好きなもっとかたいゆでたまごを作りたい。

A 児は「おばあちゃんに食べやすいサラダづくり」をめざす中で、ゆでたまごのかたさを気にして、上記のような振り返りを行いました。また、B 児は、もともとかためが好みだった家族に向け、もう少しかためにしたかったようです。そのような子どもの振り返りをみとり、全体に広げた上で、次時では家族にとって最適なゆで時間を探す実験的活動を行うこととしたのです。

【第 2 次第 3 時における振り返り】

第 2 次第 3 時では、ゆで時間を変えながらたまごをゆでる実験的活動を行いました。子どもたちが設定したゆで時間は、4 分、6 分、8 分、10 分、12 分の 5 通りです。子どもたちは、それぞれのゆで時間で調理したたまごを試食し、食感の違いを感じるとともに、自分のめあてにあった固さを選択する姿が見られました。以下は、振り返りを交流した様子です。



C 児 私は 8 分がいいと思いました。家で作っているのは 8 分くらいだとわかって、家族が食べるためにはちょうどいいと思ったからです。

教師 C さんの家のゆでたまごは、どうして 8 分くらいだとわかったのですか？

C 児 まず、見た目が似ていました。食べてみると家と同じ感じがしたので、家でいつも作っているのは 8 分くらいだと思いました。

教師 E さんは、みんながあまり選んでいない 4 分を選んでいただけ、どうしてかな？

E 児 弟が小さいから、やわらかい方が食べやすいかなと思ったからです。

教師 どうしてかたいのはだめなのかな？

E 児 かたかったら、ばさばさしてのどに詰まって食べにくいと思ったからです。

このように、振り返りの観点を「家族のためのサラダにふさわしいゆでたまごになっているか」と明確にし、振り返りを交流する場を設定したことで、自らの生活を見つめ直したのです。

◆おわりに

本稿では、私の昨年度の研究における主張点「自らの生活を見つめ直す問いを生み出す支援の工夫」をもとに、実践を紹介しました。かかわり合いや活動の場における子どもたちの学びの姿の詳細につきましては、本校の研究収録、または本校 HP をご覧ください。